



# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第1次整備提案書

### ※ 記入上の注意

- 2号様式はページを増やさず、必ず6ページ以内でまとめてください。
- 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- 整備提案審査委員会には、白黒コピーを配付しますのでご注意ください。
- 資料をA4判2ページまで添付することができます。その場合、添付資料の左側に15mm以上余白を確保してください。

### 1 整備提案の概要について

|                                  |                                      |
|----------------------------------|--------------------------------------|
| 整備提案名<br>(25字以内)                 | かわ ちいき こども ひろば<br>川でつながる地域と子供のふれあい広場 |
| 提案グループ名<br>(25字以内)               | まいおかがわ かい<br>舞岡川とふれあう会               |
| 整備場所の所在地<br>(町名又は丁目まで記入)         | 横浜市戸塚区舞岡町 534<br>舞岡川 かるがも橋 周辺        |
| 整備場所の位置<br>(整備場所周辺の地図をはり込んでください) |                                      |

|  |  |
|--|--|
| <p><b>整備提案の概要</b><br/> (どのような整備を提案するのか簡潔に記入してください)</p>   | <p>☆舞岡小学校の子ども達や、近隣の子ども達の大好きな遊び場の「舞岡川ふれあい広場」を安心して遊べる場にしたい！具体的には</p> <p>○舞岡川の周辺の整備</p> <p>① 汚れて危険になっている川底の泥をさらい、<br/> 水の中に入っても安全な環境を整える。</p> <p>② 歩道から川に降りる降り口の整備。</p> <p>③ 手洗い足洗い場を設置。<br/> 舞岡川の水を「ろ過装置」を使って飲み水までとはしないが、安心して使用出来るようにして利用。</p> <p>○地域の人のコミュニケーションの場を核とした防犯の拠点づくり</p> <p>①安心の重要な要素である、地域の目の環境づくり<br/> (昔の縁台のイメージで、囲碁や将棋の場・昔遊びの伝授・園芸講座の開催・地域交流の場・まちの見守り。)</p> <p>②長期間係わる共同作業が可能な場としての活用。<br/> 花壇等、川の水を利用して、近隣住民が人に・土地に、地域に存分に親む場所を作る。</p>  |
| <p><b>整備提案の動機や背景</b><br/> (整備に対する地域のニーズや整備によって解決したい地域の課題、整備の必要性などに触れながら箇条書きで記入してください)</p> <p>*エコトープとは Okotop 生物群集の生息域が形成され、生態系を単位とする最小の単位空間。</p> | <p><b>川で遊びたい！！ 川でのびのび遊べたら！！</b></p> <p>♪ 川におりよう はだしになって 水はともだち 一緒に遊ぼう<br/> 夢が大きくふくらんで 温もり舞岡 舞岡の子よ～ ♪</p> <p>学校の愛唱歌として今も歌いつがれる程、切っても切れない関係の川と子ども達。15年前に学校・地域が一体となって念願の「水のふれあい広場」の整備が行われ、高いフェンスで囲まれた学校からフェンスが取り除かれ、学校と川が一体化し、地域と子ども達が一体となったまさに「ふれあいの場」が整備され、川にかかる「かるがも橋」も児童の発案のもと、デザイン・命名がなされました。北村真一教授（山梨大学工学部環境システム工学科）が、機関紙「生活科教室」の中でエコトープの事例として、横浜市舞岡川と舞岡小のグランドとの境界をつくらず、水辺と一体化し、環境教育に役立っている（横浜市立舞岡小）と写真つきで紹介されている程、画期的な整備だったことが伺えます。</p> <p>現在も学校行事として、地域の人々との共同清掃作業（さわやか清掃）が行われ、学校から地下鉄舞岡駅までのおよそ500mをゴミ袋を手に手に、草刈り・川周辺のゴミ集め、川底の清掃も行っていますが、少しずつ川を取り巻く環境も悪化し、当初のように裸足で川に入る事はガラス等で危険な状態になり、（それでも子ども達は遊んではいるのですが）次第に悪循環が始まってしまっている現状です。</p> <p>しかし、昨今の学校を取り巻く環境を配慮すると、再び、学校にフェンスを取り付ける等の防犯措置を講じる必要性が出てきてしまっています。そこで、子ども達が、豊かな環境の中で育って行く為に何が出来るだろうかと考え、まずは人的環境を整える事ではと？気づきました。</p> |

他に比べれば、地域での交流は多いのですが、地域住民のつながりも希薄になりつつあり、知らない事の遠慮からあつて、なかなか自然な形での交流が出来なくなっている現状があります。

地元住民の強い希望で作られた舞岡小学校の20周年の本年を機に、20年前の地域・子供・環境等、地域のコミュニケーションを取り戻し、地域の方々より「もっと子供とふれあう機会を持ちたい」という要望もあることから、さらに深い地域との連携につながればと思いこの提案をしました。まちの貴重な財産である子ども達の心に「ふるさとまいおか」を育てる事が、今後のまち作りにもつながっていくと考えます。

整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか？

○利用者


舞岡小学校児童及びその保護者・舞岡第1,2,3町内会・近隣の幼稚園・保育園・隣接の小学校・中学校・地域住民・地域作業所・老人施設等

○地域貢献

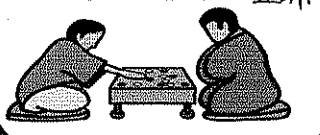
地域の各団体の方々・子ども達・保護者の交流の場、情報交換の場として活用。人々が集まる事により、子ども達を見守る防犯活動及び、まちの防犯にも役立つと考えます。

2 整備提案の具体的な内容について

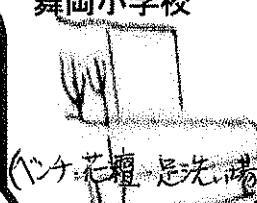
整備場所の現在の状況を写真等で示すとともに、具体的な整備の内容について文章やイメージスケッチ等で表現してください



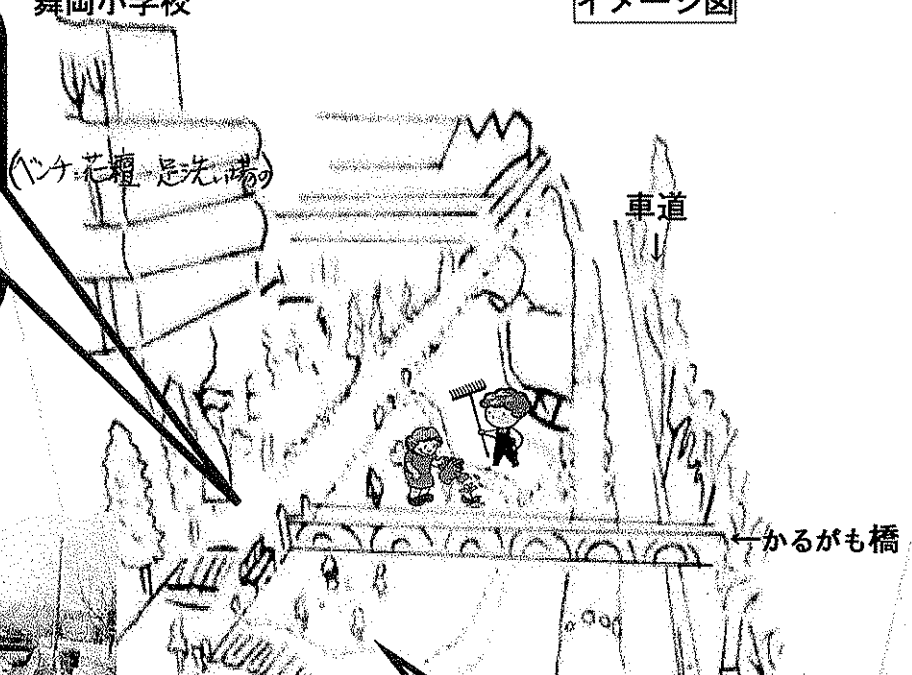
人の集まる拠点に整備



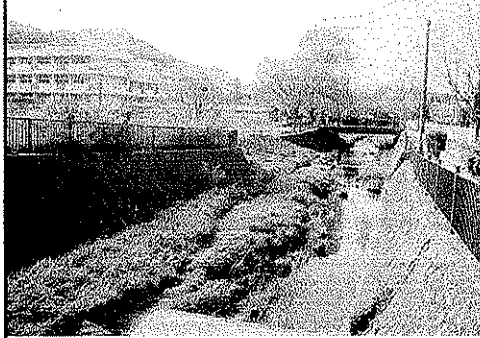
舞岡小学校




イメージ図



現在の川の様子↓

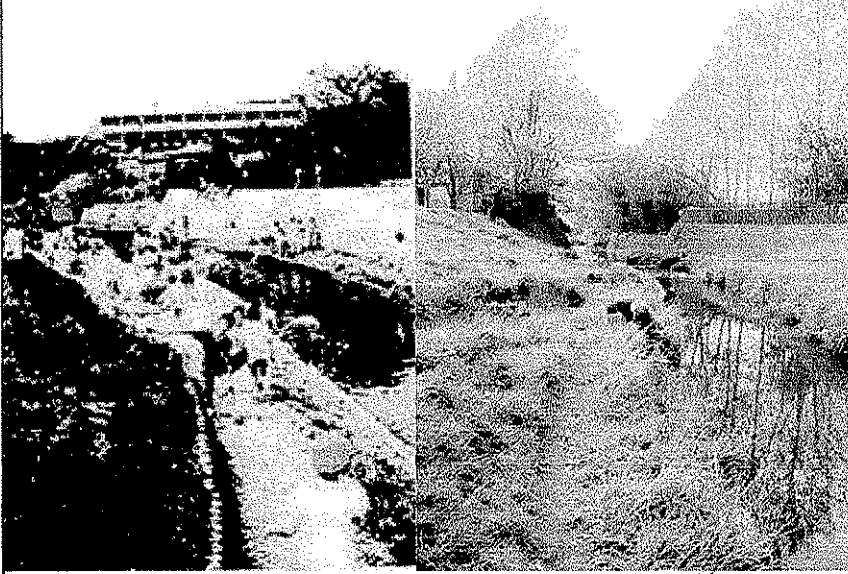


エコトープとして整備された「ふれあい広場」を再度整備し、安心して川と触れ合える場とする。

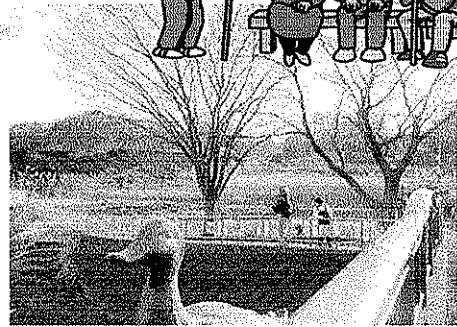
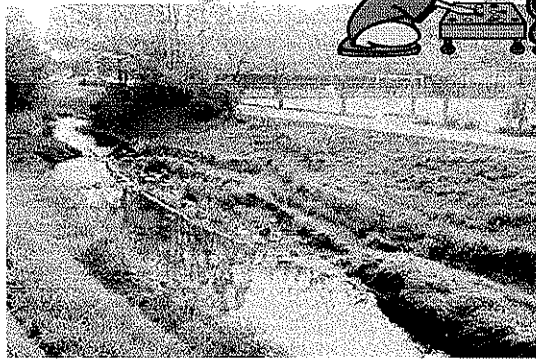
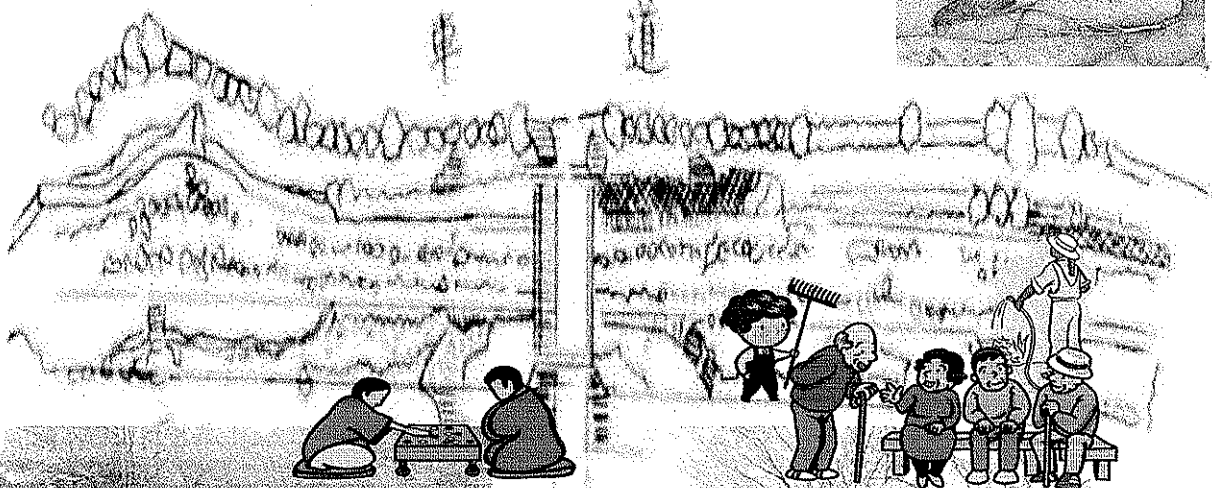
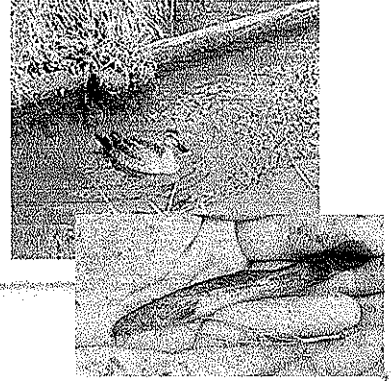


15年前のふれあい広場

現在の同所の様子

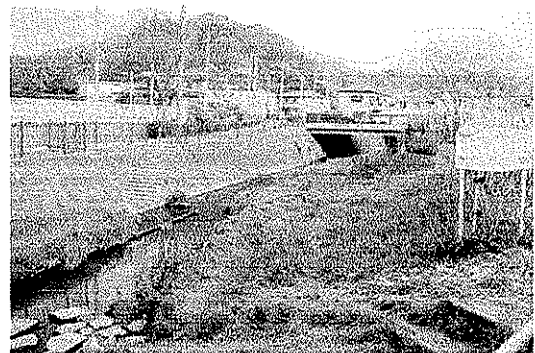


かも・さぎ等の水鳥も頻繁に目にします。最近は何度が「かわせみ」が川の小鱼を食べにやってきます。住人のどじょうもまるまる太っていました。



「何してるの？」会話が生まれます。

現在のかるがも橋よりの上流の様子。



川のヘドロ除去。ろ過装置。  
水をきれいにするための炭の購入等  
総工事費(概算) 約 150万円

### 3 提案の創意工夫について

|  |  |
|--|--|
| <p>提案内容におけるアイデアやユニークさ</p>  | <p>○裸足で子ども達が泥にまみれて遊び、手づかみで魚を取り、「かも」や「さぎ」「かわせみ」など、川を訪れる水鳥の観察をし、水辺に住む「かえる」や「ザリガニ」「昆虫」を捕まえる。<br/>         そんな、昭和の時代に普通に行われた子ども達の遊びが取り戻せる環境を作る点。</p> <p>○水、植物、人、情報、様々なかかわりを持てる拠点を作る点。<br/>         (・将棋や囲碁を打つ地域の人に、休み時間の子供が覗きに行き、レクチャーを受けたり、対局したり。<br/>         ・幅広い年齢層の人が、共同作業をする事により、仲間意識をもてるようになる。)</p> <p>○川の水を使った花壇世話。<br/>         水道水でなく、川の水を使うことにより、資源の活用になり、自然環境へ関心を持てるようになる点。</p> <p>○老人福祉施設の利用者・在所者の地域との交流。<br/>         (外に出て人や自然に触れる事による、脳の活性効果も期待)</p> |
| <p>提案を実現するために必要と考えられる地域の資源(ヒト・モノ・カネ)のうち、現在すでに獲得し、今回の提案で活用するもの</p>  | <p>○人材 提案内容の実現及び維持・運営管理の活動協力<br/>         ~舞岡小学校PTA・舞岡第2町内会・地域作業所<br/>         近隣の地域の子ども達~</p> <p>○モノ 自分たちの手での整備を条件に、以下のものを区地域振興課より頂く予定(一部借用)。<br/>         ・木材 (川整備用・ベンチ用) &lt;間伐材&gt;<br/>         ・花等 種及び苗<br/>         ・清掃用具 借用<br/>         ・制作用工具 (災害用備蓄庫に保管分を借用)</p>  |
| <p>提案を実現するために必要と考えられる地域の資源(ヒト・モノ・カネ)のうち、現在は不足しているが今後獲得していきたいもの</p> | <p>○人材 設計等の人材がありません。<br/>         川に関する環境の整備の専門家を現在あたっています。</p> <p>○モノ ろ過装置&lt;災害時用の備蓄機材もあるとのことで、関係機関にあたり、協力を求めたい。&gt;</p> <p>○カネ &lt;地域で少しでも資金を集める方法を考えたい&gt;<br/>         例えば、地産地消など、食育教育の一環としてJAに補助をお願いする など。</p>   |
| <p>整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのようにかかわっていきますか?</p>               | <p>○PTA、町内会それぞれに様々な団体に関連しており、それぞれ得意分野を有しているため、それらを生かせる形での共同での運営を基本として活動して行きたいと思っています。</p> <p>○近隣の地域作業所も整備・清掃活動に共同参画に了承済み。</p> <p>○地域外の団体とも連携を取り、情報交換や、共同作業を通してもっと大きなコミュニティ作りを目指して参画していく。</p>   |

### 4 計画性について

|  |  |
|--|--|
| <p>整備提案を応募することについて、地権者(土地所有者、借地権者)や実質的に使用権利を持っている人、会社又は行政機関の対応状況を記入してください注6)</p> |  |
| <p>4月21日環境創造局に川の整備の提案に関する説明に伺う。</p>  |  |

注6) 事前に必ず地権者等に整備提案の内容及び1次コンテストに応募することについて説明してください。

|   |  |
|---|--|
| 2次コンテストに向けた活動計画（打合せ、勉強会、地権者・近隣住民・自治会町内会・関係機関への説明及び合意形成、2次コンテストの応募書類準備など）を具体的に記入してください |  |
| 6 月   | 専門家の決定<br>活動助成金の交付申請<br>関係機関への説明及び合意形成<br>町内会・保護者への説明              |
| 7 月   | 協力者の募集（整備・維持運営）<br>勉強会<br>整備に関する資材の決定<br>整備計画の作成<br>完成予想図作成 等      |
| 8 月   | 運営に関する話し合い<br>2次コンテスト応募書類 作成<br>応募書類作成 会議<br>工事費用算出<br>町内会・保護者への説明 |
| 9 月   | 運営に関する話し合い<br>応募資料完成   |
| 10 月  | 2次コンテストのプレゼンテーションの準備<br>運営に関する話し合い<br>運営組織の充実。<br>2次コンテスト応募書類提出    |
| 11 月  | 運営に関する話し合い<br>2次コンテストのプレゼンテーションの準備                                 |
| 12 月  | 2次コンテスト  |

#### 5 特にPRしたい点について

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 提案について特にPRしたい点があれば、自由に記入してください | 学校と川が隣接している貴重な場を、<br>まちの資源として最大限に活用出来るように考え、<br>今後のまちの活力となる子供たちの成長に<br>地域ぐるみで係わる事により、<br>息のかよった人づくり・まちづくり、「ふるさと」づくりの<br>拠点とする点。 |
|--------------------------------|---|

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報が含まれていません。